

足摺沖で確認された軽石漂流物対応について

<津蔵渚水門にオイルフェンスを設置しました>

◆中村河川国道事務所では、足摺沖20キロの海上で軽石の漂流が確認されたため、四万十川への漂着に備えてオイルフェンスを事前設置しました。

◆設置期間;令和3年11月20日(土)~当面の間

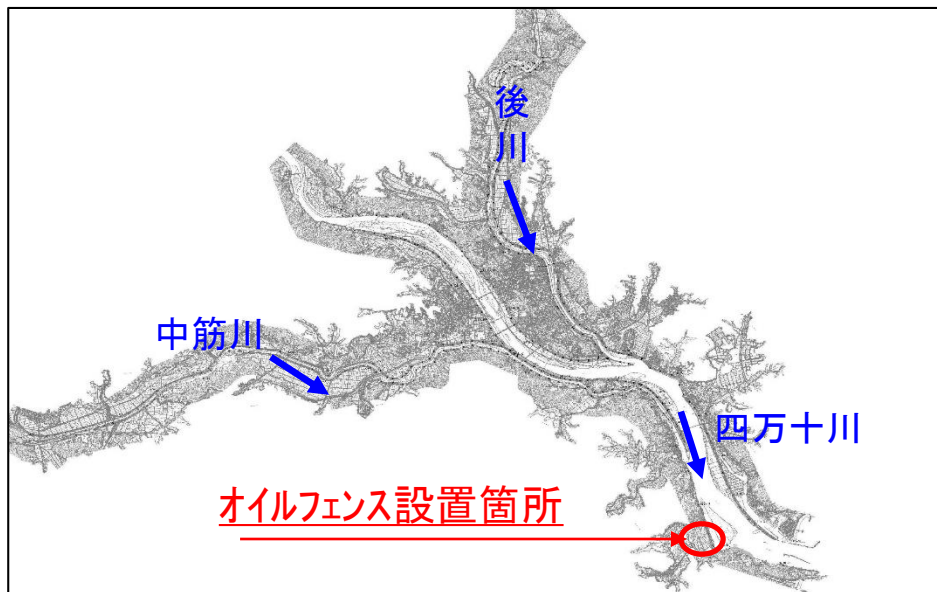
◆設置場所;津蔵渚水門(四万十川右岸, 1K/100付近)

オイルフェンス延長L=80m

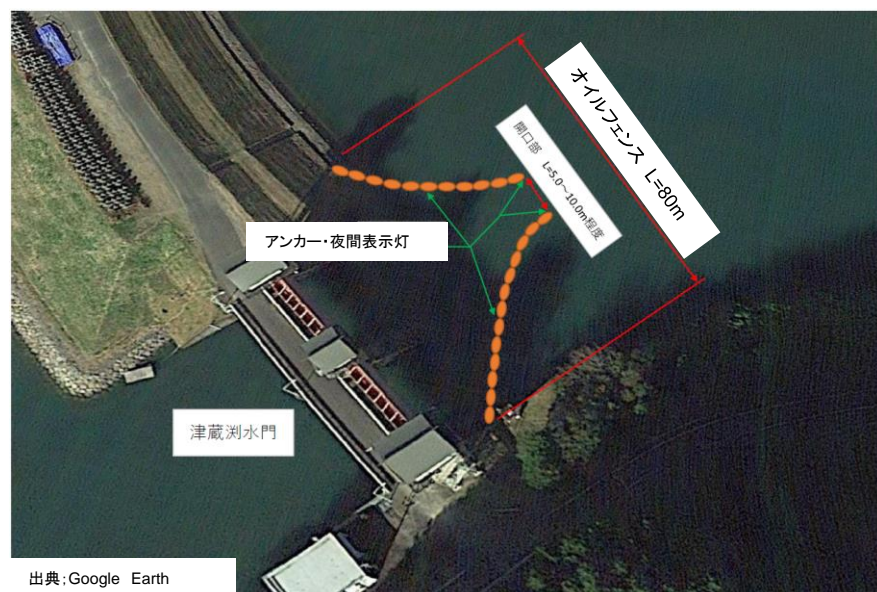
◆設置理由;津蔵渚水門は津波遡上区間に位置し、確実な水門の閉鎖操作環境を確保する必要があるため。

◆その他;小型船舶の航行があることから、先端部に開口部を設けている。(軽石漂着の際には閉鎖の措置を講ずる予定。)

◆設置箇所位置図



◆設置箇所平面図(イメージ図)



足摺沖で確認された軽石漂流物対応について

＜津蔵淵水門にオイルフェンスを設置しました＞

